

【此花区】地域活性化支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和4年度）

1 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の実績等

評価項目

- ・地域課題やニーズを把握し、これに対応するために安定継続的に活動が行われている

評価	左記の理由
B	コロナ禍において計画をしていた地域活動の自粛が余儀なくされる中、事業内容の変更や補助金活用方法など、地域の相談に対応する支援が行われていた。また、伝法地域においては、新たな「津波避難マニュアル」作成のため、津波発生時における避難受入先（地域や建物管理者）との受入調整協議を行う等、地区防災計画の作成支援を行った。

2 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の実績等

評価項目

- ・イベント等の取組に、これまで地域活動に関わりの薄かった住民の参加が促進され、地域住民同士のつながりが拡大している
- ・地域活動協議会を構成する活動主体同士や、地域活動協議会と他の活動主体との連携・協働が促進されている

評価	左記の理由
C	地域活動にオンラインツールを導入していくことを目的に、LINE や Zoom、YouTube を活用するための、地域活動勉強会（このまちトライアル）を5段階のテーマ別に開催した。オンライン会議システムの利用を模擬的に体験するなど、具体的な活用事例の共有を図ったが、目標とした区内各地域への実践的導入までには至らなかった。

3 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の実績等

評価項目

- ・民主的で開かれた組織運営と会計の透明性が確保されている

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で地域の運営委員等の参集が難しい状況下においても、書面審議、議事進行についてのサポートを行うことで、組織運営の透明性確保に向けた効果的支援が行われた。 ・会計説明会を一同又はニーズのある個別地域ごとに行い、会計処理初心者の方のスキル底上げを図ることで、会計の透明性確保に向けた支援が行われた。

4 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の実績等

評価項目

- ・地域の現状を熟知し、その状況に即した支援が行われている

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域担当職員を対象に、区の地域特性や個々の地域特性の実情を説明する初任者研修を行った。 ・地域活動協議会の構成団体を対象に行ったアンケート調査の結果、まちセンによる支援が地域の実情やニーズに即している回答割合が約9割あり、高い水準である。

5 総合評価

評価	左記の理由
B	<p>まちセンの公式 LINE や Facebook を通じた地域情報の発信、ICT 活用に向けた研修支援や会計支援等を通じて各地域活動協議会の自律的な運営支援が行われたことは評価できる。今後は、更なる ICT 等の活用を推進することで、コロナ禍の様に直接対面することが難しい非常時においても、平常時と変わりなく地域活動を継続することができる環境を築くこと、また、新たな担い手の獲得などによる地域のつながりを拡充していくための支援を期待する。</p>

(評価基準)

- S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。
- A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。
- B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。
- C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。